

## 平成22年度研修委員会基本方針

### 1 基本方針

- (1) 「練馬区教育委員会教育課題研究指定校」としての研究を行う。
- (2) 学力向上に向けた授業改善と読書活動という方向は継続する。

#### ①授業改善

- i 研究授業（今年度3回、来年度2回）講師を招いて全校で研修を行う。  
　　今年度は6月（3教科）、10月（4教科）、1月（3教科）に行う。

- ii 学力調査（6月から7月に行う。）

- iii 授業評価（年間1回）※6月から7月実施

- iv 言語活動の充実

#### ②読書活動

- i 全校の取り組み・・・朝読書、道徳、総合
- ii 国語科の取り組み・・・読書単元、課題図書

### 2 研究主題

「学力向上」～生徒が主体的に取り組み、学び合いのある授業の工夫～

### 3 研究主題設定の理由

- (1) 新学習指導要領の完全実施を目前に控え、これまでの学習内容の見直しと指導法の改善を図る必要がある。

- (2) 「全ての教科を通じて言語活動の充実を図る」ことは、新学習指導要領における授業改善の視点の一つである。

### 4 研究仮説

- (1) 学力調査 【5教科】（国語、社会、数学、理科、英語）

学力調査を行い、生徒の学力の実態を把握する。何ができる何ができなかったか、それはなぜか、等を検討する。その検討をもとに「年間指導計画」及び「授業の展開や方法」を見直して、授業改善をすすめる。

- (2) 授業評価 【全教科】

「いい授業をつくるために」（授業評価）のアンケート調査を行い、「授業の受け方」「授業の進め方」について生徒はどのように受け止めているかを知る。その調査結果を踏まえて「授業改善のポイント」を明らかにしていく。

- (3) 言語活動の充実【全教科】

各教科の指導にあたって、言語環境を整え、生徒の言語活動を充実させることによって、言語に関する能力を育て、生徒の思考力・判断力・表現力をはぐくむことができる。

- (4) 読書指導 【全校体制】

各教科・領域において読書への取り組みを進めることによって生徒は本を読むようになり、本を読むことによって、読解力を伸ばすことができる。

以上の仮説により、「授業改善」と「読書活動」によって生徒の学力を向上させることができると考えている。

### 5 今年度の研究計画

- (1) 研究授業

- ①全員年間1回以上の研究授業を行う。

- ②今年度、講師を招いての全校の研究授業は年間3回設定する。

（教科部会で授業者を決定）

6月 9日（水）社会、英語、音楽、技術

10月20日（水）理科、体育、美術

1月19日（水）国語、数学、家庭

③来年度は6月に5教科、7月に4教科、講師を招いて研究授業を行い、10月中旬に研究発表会を行う。(研究発表会の時の研究授業の教科を全教科にするかは未定。)

④教員が複数いる教科に関しては、今年度と来年度の講師を招いての研究授業を行う教員が偏らないようにする。

## (2) 授業評価

①「いい授業をつくるために」というアンケート調査を6月から7月に実施。

マークシート方式。夏休み中に集計して課題を分析し、その後の授業改善にいかす。

アンケートの質問項目のIV「進んで発言しましたか。わからないところを質問できましたか。」に関しては「授業中に発言したり質問したりできましたか。」に変えました。

②経年変化から授業改善へ向けての課題を把握する。

## (3) 読書指導

①朝読書・・・朝読書カードで記録を取り、生徒の意欲を喚起する。

各クラス20冊程度の学級文庫を設置する。

②道徳授業地区公開講座・・・7月3日(土)課題図書を教材として道徳授業を行う。

③総合的な学習の時間の「調べ学習」で資料を読む。

④読書アンケート(実態調査)・・・図書委員会で実施し、読書傾向の集計・分析を行う。

⑤国語科の指導において読書単元を設定する。

⑥課題図書・・・年間6回実施。課題図書の本は学年別に国語科が選ぶ。

⑦ブックトーク・・・12月に1年生を対象として実施。平和台図書館と連携を取る。

⑧読書感想文コンクール・・・国語科で実施する。

## (4) 学力調査

①年一回、6月から7月に行う学力調査のデータを用いる。

②学力調査委員会が担当する。

③夏休みの三者面談で資料として活用する。

④問題用紙の回収、保管。結果が返されたら問題用紙を見ながら解説して、その後問題用紙を返却。学力調査の結果の保管場所は進路相談室の鍵のかかるロッカー内とする。

CDは校務用パソコンに入れて、その後ファイルと一緒に保管する。

## 6 研修の進め方

(1)「研究のまとめ」として冊子にする。

(2)「学力調査」「授業評価」の集計はこれまでの資料を活用し原則様式を引き継ぐ。

(3) データは校務用パソコンを用いて保管する。



## 7 その他

講師は原則区中研部長、指導主事あるいは本校の校内研究に来ていただいた方を予定している。もし、講師の先生のご希望がありましたら、校長先生まで。

8 今年度の研修予定

| 月  | 日  | 曜 | 研修内容                     | 授業改善 |               | 読書指導                |
|----|----|---|--------------------------|------|---------------|---------------------|
|    |    |   |                          | 学力調査 | 授業評価          |                     |
| 4  | 21 | 水 | 「今年度の校内研修の基本方針及び進め方」確認   |      |               | 朝読書の定着              |
| 5  | —  | — | 各教科の指導の重点、年間指導計画の作成      |      |               | 中学生に薦める本            |
| 6  | 9  | 水 | 研究授業(社会、英語、音楽、技術)        | 学力調査 | ↑ 授業評価実施<br>↓ | 読書の記録掲示<br>道徳地区公開講座 |
| 7  | —  | — |                          |      |               |                     |
| 8  | 24 | 火 | 中間まとめ冊子準備、教科部会、新学習指導要領の話 | 結果分析 | 結果分析          | 読書感想文               |
| 9  | —  | — |                          |      |               | 読書感想文コンクール          |
| 10 | 20 | 水 | 研究授業(理科、保育、美術)           |      |               | 1年推薦図書 50           |
| 11 | —  | — |                          |      |               | 読書の記録掲示             |
| 12 | 22 | 水 | 今年度のまとめに向けて最終確認          |      |               | ブックトーク              |
| 1  | 19 | 水 | 研究授業(国語、数学、家庭)           |      |               | 読書調査                |
| 2  | —  | — | 今年度の中間まとめ（成果と課題）冊子作成     |      |               | 今年度の反省・課題           |
| 3  | —  | — | 「来年度の校内研修の方針」確認          |      |               |                     |